

船舶事故等調査報告書

平成21年1月29日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008神第52号	
事故等名	旅客船あさしお丸衝突(岸壁)	
発生年月日時刻	平成20年9月25日 09時23分ごろ	
発生場所	兵庫県岩屋港 明石淡路フェリー株式会社専用第2岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年11月25日 神戸・地方事故調査官が海難報告書を精査し、 フェリー会社運航管理者から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実		
船種・船名・総トン数	旅客船 あさしお丸 1,295トン	
船舶番号(IMO 番号)	129243	
船舶所有者等	明石淡路フェリー株式会社	
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	負傷者 なし	
損傷	船首部エプロン受台左舷側角部防舷材に擦過傷 岸壁 防舷材(ゴム製フェンダー)の一部を損傷	
事故等の経過	本船は、兵庫県明石港で、車両等21台、旅客38人を搭載し、同県岩屋港に向かい、同港専用バースに船首部を着岸させるため接近中、進行方向至近に接近する浮流物を認めて回避動作をとったところ、平成20年9月25日09時23分ごろ、船首部エプロン受台左舷側角部が、岸壁先端部のコンクリート基部に被せてあるゴム製フェンダーと衝突し、船首部エプロン受台左舷側角部の防舷材に擦過傷を、岸壁の防舷材の一部に破損を生じた。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし なし なし 本船は、進行方向に接近する海上浮流物を回避する際、同浮流物の接近が速かったこと、及び岸壁の至近であったことにより十分な回避動作がとれなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が着岸時に岸壁至近において急速に接近する海上浮遊物に対して十分な回避動作をとれなかったため、岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	